２０２６年１０月１日

「SEIBU BLUE ART STATION」第３弾！

～はじまりは BLUE から～

巨大壁画、インスタレーションなど３駅でアート制作！

✓アーティストが青色を基調としたアートを制作します
✓井荻駅、国分寺駅、鷹の台駅で１０月中旬から公開制作を実施します

西武鉄道株式会社
株式会社 NOMAL

西武鉄道株式会社（本社：埼玉県所沢市・社長：小川 周一郎）（以下、西武鉄道）と株式会社 NOMAL（本社：東京都中野区・代表取締役：松本 祥太郎）の事業である NOMAL ART COMPANY（代表：平山 美聡）は、各駅やその周辺エリアの特徴を想起させるアート作品を駅構内に展開するプロジェクト「SEIBU BLUE ART STATION」の第３弾として、井荻駅、国分寺駅、鷹の台駅にアート作品を創出します。

「SEIBU BLUE ART STATION」は、アートを通じて駅や周辺地域の魅力を伝え、駅を利用する方々に地域への愛着を深めていただきたいという想いから２０２４年にスタートし、これまで４駅に８作品のアートを展開してきました。壁画アートの公開制作を通して駅をご利用いただくお客さまには日に日に壁画が完成していく様子をご覧いただき、アーティストとの生の交流をお楽しみいただくとともに「壁画のおかげで駅が明るくなってここを歩くのが楽しくなった。」「またこの道を通りたいからこの駅を使いたくなる。」など、たくさんの好意的な反応をいただきました。

３年目となる今年度は、井荻駅、国分寺駅、鷹の台駅で２０２６年１０月中旬から２０２７年２月下旬頃にかけて、アーティストによる壁画アートおよびオブジェの公開制作を行います。井荻駅には東京・名古屋・大阪からアーティストを１名ずつ招き、ホームだけでなく跨線橋にもアートを展開し、駅全体で公開制作をお楽しみいただけます。また、国分寺駅では本プロジェクト初のインスタレーション設置を予定しており、武蔵野美術大学の最寄り駅として利用されている鷹の台駅では初めて学生のアーティストをアサインするなど、本プロジェクトにおいて新たな試みを行います。

３年目を迎え、１６組のアーティストによるアート作品が、７駅に計１６点創出されることとなります。駅ごとに展開してきたアートが「点」ではなく「線」でつながり、西武線全体がひとつの大きなミュージアムとして楽しめる環境へと発展していきました。日常的に利用する駅で大型アートに出会い、その作品をきっかけに普段は降りない駅や街に興味を持っていただくことで、沿線への愛着醸成や新たな人流の創出につながることを期待しております。沿線に広がる新たなアート体験を、過程も含め、ぜひお楽しみください。

詳細は別紙の通りです。



Seibu Group でかける人を、ほほえむ人へ。

【別紙】

「SEIBU BLUE ART STATION」２０２６年度実施概要

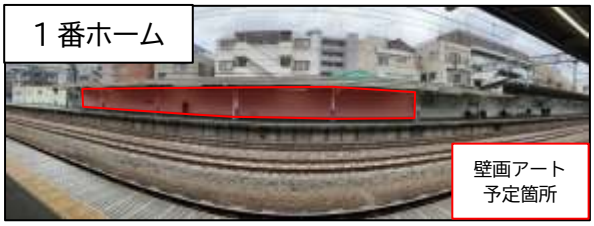
１．制作予定期間：２０２６年１０月中旬～２０２７年２月下旬

２．対象駅：井荻駅、国分寺駅、鷹の台駅

３．各駅のコンセプト

■井荻駅（東京都杉並区）

東京２３区にあって、懐かしい雰囲気や緑道、小さなお店や公園などノスタルジックな雰囲気が漂う井荻駅。ここでは東京・名古屋・大阪からアーティストを１名ずつ招き、井荻駅の周辺がもつノスタルジックな雰囲気や日常を情感たっぷりに描きます。







※アート制作箇所：１・２番ホーム壁面、跨線橋

■国分寺駅（東京都国分寺市）

初のインスタレーション設置を想定している国分寺駅。ニューヨークでのキャリアが長く、瀬戸内国際芸術祭など様々な場で空間に合わせた作品を残す大岩オスカールが、国分寺にかつてあり今も雰囲気として残る「東京の中の森」に目を向け、たぬきの像を中心としたインスタレーションを実施します。

※アート制作箇所：７番ホーム（多摩湖線）待合室横



■鷹の台駅（東京都小平市）

「武蔵野美術大学（通称ムサビ）」の最寄り駅として、多くのムサビ生の生活基盤となっている鷹の台駅。今回は本プロジェクトにとって初めて学生のアーティストをアサインします。学内の公募を実施し応募してきた学生の中から４名を選出。それぞれの学生の目線で見た鷹の台駅を、それぞれの強みを活かして描きます。



※アート制作箇所：２番ホーム壁面

４．アーティスト

【井荻駅】

■Eri2win（えりつぃん）　（Instagram：https://www.instagram.com/eri_2win/）



大阪を拠点に活動。壁画をはじめ、イラストレーション、ロゴやポスターデザイン、さらには自身が愛好するヴァンナチュールワインのエチケット（ラベル）制作など、多岐にわたるプロジェクトを手掛ける。
枠にとらわれない豊かなイマジネーションから生み出される作品は、自然の温もりを感じさせるオーガニックなタッチが魅力。観る人の心をふっと解きほぐし、空間に温かな幸福感をもたらすアーティスト。

・代表的な活動
２０２２年　個展　nickjerky art 「PORTAL 別世界との窓」
２０２４年　個展　SHIRAHAMA KEYTERRACE HOTEL SEAMORE 「PORTAL 3 白浜遭遇」
２０２５年　グループ展　壁コーヒー 「Things are looking up」

■鷲尾 友公　（Instagram：https://www.instagram.com/washiotomoyuki/）



愛知県生まれ。独学で絵画を学び、街との関係性を軸に人物や事象などと関わり合いながら、イラストやデザイン、アニメーションなどジャンルを問わず、制作活動を人間の自由な行為として捉え表現している。
街や商店街でクロスジャンルなコラボレーターと音楽企画も展開する。
手に目と鼻が描かれたオリジナルモチーフの「手君」を美術館や海外で発表するなど、活動は多領域にわたる。

・代表的な活動
２０１９年　あいちトリエンナーレ２０１９
２０２３年　Nobody’s studio DISC-３０

■神山 麗子　（Instagram：https://www.instagram.com/reikokamiyama_colorsounds/?hl=ja）



旅するように毎日を送りながらイメージを絵に流し込む絵による表現者。見るもの聞くもの感じるものを体を通して色と化す。東京工芸大学芸術学部デザイン学科卒業後、２０１２年頃から壁画や店舗で展示を始める。

・代表的な活動
２０１７年　個展『想像音楽都市』/MDPgallery
２０１９年　『OpenStudio』/Artfactory 城南島
２０２１年　富士通川崎オフィスウォールアート
２０２４年　JR 東日本上野駅構内公園口改札にてライブペイント

【国分寺駅】

■大岩オスカール　（Instagram：https://www.instagram.com/oscar.oiwa/）



１９６５年ブラジル・サンパウロ生まれ。東京とニューヨークを行き来しながら、都市での生活体験や社会問題をテーマに、風刺やユーモアを交えた、俯瞰的でダイナミックな絵画作品を制作している。２０１６年に参加した瀬戸内国際芸術祭では、直径１２メートルのドーム内部を油性マジックの描画で埋め尽くすインスタレーションを展開。２０１９年には金沢２１世紀美術館で大規模個展「光をめざす旅」を開催。作品は、東京都現代美術館、金沢２１世紀美術館、豊田市美術館、東京国立近代美術館、広島市現代美術館などに収蔵されている。

・代表的な活動
２００８年 夢みる世界 東京都現代美術館 / 東京 、 福島県立美術館 / 福島
２０１１年 大岩オスカール 国立美術館 / リオデジャネイロ
２０１９年 大岩オスカール 光をめざす旅 / 金沢２１世紀美術館 / 石川
２０１９年 大岩オスカール / リオデジャネイロ、東京、パリ　パリ日本文化会館 / パリ
２０２０年 眠る世界の夢 カリフォルニア州立大学パシフィックアジア美術館 / パサデナ USA

【鷹の台駅】

■王澤（オウタク）
（Instagram：https://www.instagram.com/zewang7）



武蔵野美術大学大学院造形研究科修士課程美術専攻油絵コース１年。
２０００年　中国安徽省生まれ。油絵を中心に、日本画や中国絵画、西洋古典絵画の技法や視点を取り入れながら制作している。社会や歴史、災害と人間との関係に関心を持ち、現実の風景や出来事をもとに、記憶や想像が交錯する世界を描く。
異なるモチーフを再構成し、現実と非現実が共存する風景を追求している。

・代表的な活動
２０２５年　グッドデザイン・ニューホープ優秀賞
２０２６年　２０２５年度武蔵野美術大学卒業制作優秀賞受賞

■廣瀬 大成
（Instagram：https://www.instagram.com/hirose_h_taisei）



武蔵野美術大学視覚伝達デザイン学科３年。
グラフィックデザインを中心に広くデザインを学んでいる。制作過程や、発想の起点などのコンセプトを大切にし、ユニークな視点を持って対象を観察し、独自の方法でヴィジュアルに定着させる。

・代表的な活動
２０２５年　JAGDA 国際学生ポスターアワード２０２５実行委員賞
２０２６年　害蟲展 season7 最優秀賞
２０２６年　MAF　新潟県妙高市でのアーティストインレジデンス

■ミトマヒロ
（Instagram： https://www.instagram.com/mi10_.m）



武蔵野美術大学油絵学科油絵専攻２年。
油絵をメインに、立体や映像なども一貫した視点で制作している。他者との関わりの中で確立する自己をテーマに、記憶や関係性を積み重ねながら、私自身がどうできあがっていくのかを深掘りしている。細部に没入する反復的な手の動きを大切にしており、画面の中での心地の良いカタチを追求する。鑑賞者の心が弾むようなパワフルな画面を目指している。

■川口 結羽
（Instagram：https://www.instagram.com/yu_.oo10/）



武蔵野美術大学日本画学科１年。
私にとって創作は、かけがえのない財産である。間違いを決めつけることなく、自由に表現できる世界に魅力を感じ、自分の「好き」を大切にしながら制作を続けている。細やかな描写を好み、生き物の生き生きとした姿や、儚さを感じさせる瞬間を描くことが多い。作品を通して見る人に問いを投げかけ、一人ひとりの物語が広がっていくことを目指している。「好きって無敵！」を制作の軸に、これからも自分の感性を追求していく。

５．注意事項
・制作の様子をご覧いただく際は、他のお客さまの通行のご迷惑とならないよう、ご配慮をお願いします。
・写真撮影の際は、安全のため、ホームからの転落などがないよう、十分ご注意ください。
・制作中の壁面にはお手を触れないようにお願いします。

６．参考情報
◇昨年度の作品
■入曽駅 × 田中紗樹



■入曽駅 × Abbey Rich



◇「SEIBU BLUE ART STATION」について

「SEIBU BLUE ART STATION」は駅のあらゆる場所に展開されるアートプロジェクトです。
描かれたアートは、各駅の街の特性から着想された、その街ならではの魅力が詰め込まれています。
駅を、ただ電車を利用する場所ではなく、その時間をより豊かにするために。
アートを見た人がより街を好きになったり、普段利用しない人も興味を持つきっかけになるような場所に。
様々な目的で駅を利用される人と人が、アートがある空間で交わり繋がっていく。
駅のアートがきっかけで、人や街がより豊かになり、未来がもっと明るくなる。
「SEIBU BLUE ART STATION」は、そんな可能性を秘めています。
西武線に広がるアートは、より多くの人を笑顔にするために、さらに広がっていきます。
詳細：https://www.seiburailway.jp/railways/seibublueartstation/

◇株式会社 NOMAL および NOMAL ART COMPANY について

NOMAL ART COMPANY（代表：平山 美聡）は、壁画アートを通じて、新しい価値観と出会い自身の感性を更新することで自由に活躍する日本人を増やすことを目指す、壁画アート事業です。オフィスアートを中心に、パブリックアートや教育関連など活動の幅を広げ、日常とアートが交差するシーンを作り続けています。ビジネスパーソンとアーティストが触れ合う事で本質的なアート思考と創造性が生まれることに着目し、ワークショップも提供しています。国内外３００組以上のアーティストと連携しながら、アーティストとビジネスマンが友達のように交わり、互いに刺激し合う世界を目指しています。
なお、NOMAL ART COMPANY は、株式会社 NOMAL（代表取締役：松本 祥太郎）が展開する事業の一部であり、株式会社 NOMAL は「好きに、進め」というミッションのもと、多角的な事業展開を行い、好きに進む人が増えていく社会の実現を目指しています。

〈会社概要〉
社名　株式会社 NOMAL（代表取締役：松本 祥太郎）
事業名　NOMAL ART COMPANY（代表：平山 美聡）
住所　〒１６４-０００１ 東京都中野区中野３-１-６ N１ビル２F
会社 HP　https://nomal.jp/
NOMAL ART COMPANY サービスサイト　https://nomalartcompany.jp/
Instagram　https://www.instagram.com/nomalartcompany/

◇西武鉄道に関するお問合わせ先
西武鉄道お客さまセンター TEL.０５７０－００５－７１２
音声ガイダンスのご案内により、メニューをお選びください。
［営業時間：９時～１７時（１２/３０～１/３を除く）］

◇NOMAL に関する問い合わせ
https://share.hsforms.com/1zZO_0xafQkScaWFvGlkZxQ5cfy9

以　上